

# 網袋式天然採苗によるアサリ増殖

北薩地域振興局 林務水産課（出水市駐在）

## 【背景・目的】

北薩地域においてアサリやハマグリ等は、共同漁業権対象種となっているが、漁獲対象としての利用度はあまり高くない状況にある。そのような中、令和4年8月に八代海で発生したカレニアミキモトイ赤潮に起因したと推察される貝類等のへい死が地域内で確認されたことをきっかけに、漁業対象として低利用であった地域資源に着目し、関係機関と連携しアサリ等二枚貝の資源増殖に取り組むこととした。

## 【普及の内容・特徴】

（独）水産総合研究センター養殖研究所が開発した「網袋式天然採苗」技術及び当技術を実証した三重県鳥羽磯部漁協の取組例を参考に実施した。

### （1）場所の選定（10月）

場所は、漁協及び市町職員らと地域住民からの情報や設置、管理、調査のしやすさをもとに選定し、長島町で1カ所、出水市及び阿久根市で各2カ所とした。

### （2）網袋等の設置（10月）

袋内の基質は、ケアシエルと砂利の混合物とし、網袋（40cm×50cm、目合い5mm）を1カ所あたり4または8袋設置した（表1）。

なお、網袋の半数は平置きし、残り半数は埋没対策として農業用トレーの上に設置した。さらに、網袋が流出するのを防止するため、2本の杭に渡したロープに連結した。

表1 設置状況

地点	市 町	設置場所	設置数
A	長 島 町	玉石+砂	4
B	出 水 市	砂地	4
C	出 水 市	砂地	8
D	阿 久 根 市	砂地	4
E	阿 久 根 市	砂地	4

## 【成果・活用】

設置5ヶ月後（3月）に漁協及び市町職員とともに各所2袋ずつ確認し、アサリ稚貝の個数や殻長を調査した。

地点A：設置場所の玉石を除去（堅い地盤を露出）後、網袋を設置したことから、埋没はしなかったものの、アサリ稚貝は確認できなかった。

地点B：袋の埋没はなく、1袋からアサリ稚貝7個（非アサリ1個は除く）を確認した。殻長は、4.0～7.6mmの範囲であった。

地点C：袋の埋没はなく、1袋からアサリ稚貝2個を確認した。殻長は、3.9、7.3mmであった。

地点D、E：全ての袋が埋没していた。アサリ稚貝は確認できなかった。

5ヶ月後の調査で5カ所中2カ所（地点B、C）でアサリ稚貝を確認できた。これらの箇所は、天然アサリが多く生息する場所であることに加え、網袋の埋没がなかったことが採苗に繋がったと推察した。一方、稚貝を確認できなかった地点D、Eでは、網袋中に殻長5mm程度の死殻が複数あったことから、網袋が埋没したことで生息できなかったものと推察した。アサリの産卵時期は、春と秋とされていることから、地点Aも含め、網袋の埋没に配慮しながら今後も定期的な調査を行うこととしている。



地点A 設置



5ヶ月後



調査状況



地点B 設置



5ヶ月後



袋内のアサリ等稚貝



地点C 設置



5ヶ月後



袋内のアサリ等稚貝



地点D 設置



5ヶ月後



地点E 設置



5ヶ月後